

●●ヒロシ君の訪問日記●●

ぎずなループ事業に参加して下さっている障がい者施設様への訪問レポートです。今回は社会福祉法人「ふれあいの家」さんに遊びに行ってきました。(福島県喜多方市)

得意な分野は任せて！

カ ナ：ヒロシ兄ちゃん、こんにちわ！
ヒロシ：やあ、カナちゃん、今日はとてもうれしそうだね。

カ ナ：お母さんにね、褒められたの。さっき学校から帰ってお着替えしたとき、着替えが上手になったねって……

ヒロシ：よかったね、とってもうれしいね。

カ ナ：ヒロシ兄ちゃんもうれしそうだよ。

ヒロシ：今日も就労支援の施設に遊びの行って来たんだけどね……

カ ナ：障がいのある人達がお仕事やお勉強しているところだよな。

ヒロシ：そう、喜多方市にある社会福祉法人「ふれあいの家」さんでお話を聞いてきたんだ。

カ ナ：どんなこと聞いてきたの？

ヒロシ：おもしろいことだよ。障がいのある人たちは、社会に出てみんなと一緒に仕事をすること
な苦手な人が多いっていうのは知っているよね。

カ ナ：知ってるよ。

ヒロシ：そんな人たちのなかにも、すごい能力の人がいるんだって。

カ ナ：お空を飛んだりするの？

ヒロシ：いやいや、あんばいじゃないからそれはないけど、あまり他人と話すことが得意じゃ
ない自閉症の人に、ハンダ付けのお仕事を頼んだら、何枚でも教えられたように
正確につくることができる人がいるんだって。

カ ナ：機械のように……？じゃあ、どらえもんと同じだ。

ヒロシ：う〜ん、違うけど……、他にもね、お皿に何枚でも全く同じようにお魚
を描く人もいるんだって。絵皿っていうんだけどね。

カ ナ：みんなお仕事好きなんだね。

ヒロシ：障がいのある人は、一人ひとり個性が違うから、なかなかお仕事ができ
ない人もいるんだけど、施設の職員の方たちは、そのような障がいのある
人ができるようなお仕事をいつも探しているんだって。

カ ナ：ヒロシ兄ちゃんの施設でしている【銅線剥離エコビジネス】のお仕事もそう
だよな。

ヒロシ：その通りだよ。「ふれあいの家」さんでも【銅線剥離エコビジネス】のお
仕事を手伝っていただいているんだ。機械も今は「ふれあいの家」
さんの施設にあるんだけど、最初の頃は僕たちの施設に來
て手伝ってもらっていたんだよ。

カ ナ：わざわざ来てくれたの？

ヒロシ：職員の方が、外の事業所さんで新しいことを体験して
欲しいと考えて、園外作業として職員の方と一緒に
来てくれたんだ。

カ ナ：みんなで来たの？

ヒロシ：最初は2名だけだったんだけど、その人たちが「こん
なことして来たんだよ！」って、イキイキとみんなにお
話をしたら、他の人たちも興味を持ったんだって。

カ ナ：じゃあ、みんなで来るといいのにね。遠足みたいで楽しいよ！



えーと、
これはこっちの種類で
これはこっちな

自分のペースで能力発揮だ！

ヒロシ：でも、それは難しいので「ふれあいの家」さんで機械を入れる
ることになったんだ。

カ ナ：みんなで【銅線剥離エコビジネス】のお仕事ができるね。

ヒロシ：そう！機械を目の前にしたら、他の人たちもお仕事に対する意欲が変わっ
て「僕がやる、僕がやる」というふうになったんだって。

カ ナ：機械をいっぱい用意したの？

ヒロシ：それは無理だったので、順番待ちで作業をしたそうだよ。

カ ナ：【銅線剥離エコビジネス】のお仕事ってそんなに楽しいの？

ヒロシ：電線の外側のビニールなどを剥がして、銅線と分ける作業で単純に思えるけ
ど、長さとか太さ、種類などが違ういろいろな電線があるので、自分で考えな
がら分けたりして作業できるのが楽しいみたいだね。自分でやったという自信
がつくんだね。

カ ナ：カナもお洋服をきちんと着られるようになったから、おしゃれできるのが楽しいよ。

ヒロシ：カナちゃんも自信がついたんだね。とてもいいことだよ。それに【銅線剥離エコビジネス】
は、機械を使って作業をするので不良品が出ないこともよるこばれてるんだ。障がいのある
人たちのお仕事は、例えば袋にシールを貼ったりとかあるんだけど、シールがズレてしま
ったりとかで、やり直しが必要になってしまう。だから失敗のないお仕事のほうがストレ
スにもならなくていいらしいんだ。それに銅線はちょっと重いので、力のある人に運搬
のお手伝いをお願いすると「よっしゃ！」という感じで、笑顔で張りきって手を貸してくれ
たりするので、施設の中が元気になるって職員の方が言った。

カ ナ：そういえば……、ノ……ロ……、ノル……？

ヒロシ：そう、【銅線剥離エコビジネス】は、ノルマや納期がないのも障がいのある人たちの仕事としては
適しているんだよ。よく覚えてくれたね。

カ ナ：いっぱいお仕事できるといいね。

ヒロシ：だからもっともっと廃電線が必要なので、多くの会社のみなさんに協力をお願いするもの僕の仕事な
んだよ。おかげさまで応援していただける会社も少しずつ増えてるから、障がいのある人たちによるこ
んでももらえるようになってきてるんだ。
まだまだ頑張るよ！

カ ナ：カナもお手伝いできることある？

ヒロシ：そうだね。「ふれあいの家」さんでは、施設
に通って来ている人たちが、いつまでも家族
の方と仲良く暮らして欲しい、長生きして欲し
いって考えているんだ。だからカナちゃんもお母
さんやお父さんといつまでの仲良くして欲しいな。

カ ナ：それなら大丈夫だよ。お母さんもお父さんも大好き
だもん。

ヒロシ：そうだね。それが一番の親孝行だね。

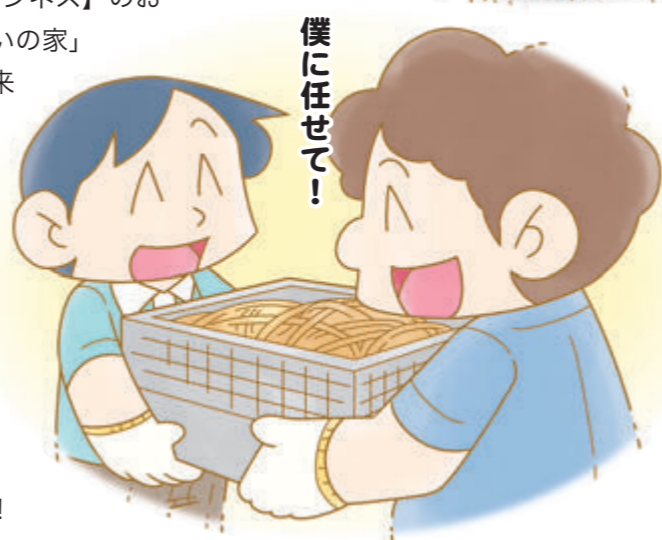


ほら、
こんなにできたよ



じゃあ
もうちょっと

おっ、
重い！



僕に
任せて！

